

映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」

全国上映運動がスタート 高知での上映会を成功させましょう

2022年3月18日 全労連会館 ホール



映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」製作発表会見に出席した、左から窪塚俊介（夫・浅野晃役）、井上百合子（伊藤千代子役）、竹下景子（東京女子大創立者・安井てつ役）※日刊スポーツより



「不屈」

No573 付録
高知版 No418
2022.3.15

治安維持法犠牲者国家賠償要求
同盟高知県本部

発行責任者
森岡 幸一
TEL・FAX
088-841-0072

いよいよ完成！
4月から全国上映運動

映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」は、昨年12月に撮影を終え、今年4月から全国上映が始まります。

高知県内でも同盟会員のみなさまからの温かいカンパと同盟会計から映画製作支援のため合計20万円を拠出し、2回の「上映債権」を取得しました。何かと出費がかさむ中、ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました。

この作品は日本の“ジャンヌダルク”ともいわれる昭和初期の社会運動家、伊藤千代子（1905〜29年）の生涯を描いた作品です。伊藤千代子は長野県諏訪市の出身で、進学した東京女子大でマルクス主義に出会い、共産党に入党。1928年、治安維持法による弾圧事件で警視庁に逮捕され、東京市ヶ谷刑務所に収監。転向を強要する激しい拷問にも屈しませんでした。が、精神を病み、急性肺炎のた

め24歳の若さで亡くなりました。

原作者の藤田廣登さんは、「千代子はジェンダー平等をめざした。ジェンダー平等が叫ばれる今、女性をテーマにしたことに大きな意味がある」と話され、メガホンをとった桂壮三郎監督は、「権利を求め声を上げた若者がいた。映画では学ぶ力で時代を越えようとする姿、弾圧されても自分の考えを曲げず頑張る姿を描いた。選挙に行かず権利を行使しようとする人、歴史を知らない若者には驚くような発見があるはず。上映運動を広げて多くの人に見てもらいたい」と上映運動の広がり、戦前の困難な条件の中で命を賭して戦い抜いた無名の女性の生涯は、今日を生きる私たちを限りなく励ましてくれることでしょう。コロナ禍の中ですが、感染対策をしつかり取り、県内の上映運動を成功させましょう！

*上映を希望される皆様、ぜひ同盟県本部までご連絡ください。

故 猪野 陸氏 作品

埋もれてきた群像より

「車輪」時代 (I)

中野重治も一九三二年四月の検挙から二年ぶりにできて、ナルプ解体下で文学活動をはじめていた。独立作家クラブがつくられていくが、一九三七年五月十八日の『都新聞』文芸時評に次のようにかいた。

「新しい詩人も現れてゐる。広海大治も出れば福原宗雄も出た。京都の『車輪』といふ薄っぺらな雑誌も時々素直ないい詩を発表してゐる。中野重治の眼にうつる広海大治や京都の薄っぺらな『車輪』のかき手は、『言葉のハンマー』のうちおろし」日本の部屋に窓

を開けること、むしろ自分が風となつて吹きこむことを目標に仕事をする「新しい詩人であつた。

その『車輪』をはじめていくのが倉橋頭吉たちだつた。倉橋頭吉は一九一七年、高知県 香美郡佐岡村大後人にもに京都へ移つた。兄の倉橋潤一郎は高知師範学校をすみ、県東部で教員をしながら詩をかいた。

『車輪』は一九三六年九月から立川究、風間歌が中心になつて翌三七年四月号まで七号をだしていくが、三月、風間歌を含む検挙で廃刊に追いこまれていった。風間歌は倉橋頭吉のペンネームだつた。

この『車輪』刊行前後の状況はどんなであつたか。司法省調査部編の復刻『資料昭和プロレタリア文化運動史』の「京都地方に於ける文化運動」の項目、「詩雑誌『車輪』を中心とする運動」にててくる。

「日本共産党中央再建準備委員会に關係して運動して居た渡辺牧は、文学運動の合法的場面を利用して人民戦線の樹立を図るべく、『短歌評論』の誌友となるが、同年八月下旬頃、『立川究、風間歌の提唱に係る勤労詩歌誌『車輪』に参加して編輯同人となり、」戦争反対、反ファシズム運動の必要性等を強調する等、当時の客観情勢に適応した問題を採り上げて巧みに共産主義の宣伝に努め、『車輪』は左翼的傾向を帯びるに至つたので、昭和十二年三月九日関係者を検挙した」というものだつた。

同復刻資料は「京都に於ける人民戦線文化運動一覽表」を、コミンテルン——日本共産党——車輪、美術批評研究会、学生評論、リアルという図式でのせており、『車輪』や『リアル』は特高側に重要な人民戦線文化運動と映つていたことがわかつてくる。

倉橋頭吉が同人の赤石茂に

あてた手紙のなかに「一時病気で未拘束のまま決定を待つているとき、亦、別な関係から再び他へ移され、昭和十三年十二月四日にやつと決定して帰ってきました」とあるから一年八カ月ぶりの釈放だつた。

倉橋頭吉が「帰ってきた」ときは国家総動員法が発動しており、日中戦争も二年目に入り、武漢三鎮占領とひろがつていた。京都の文化運動も、一年前の『車輪』につづいて『リアル』グループの三月検挙、『土曜日』『世界文化』グループの十一月検挙と、すべてが息の根を止められていった。

半年あまり、謄写印刷三十一ページ前後で七号までだした『車輪』は、発行部数わずかに二百部にすぎなかつた。中心となる立川究、風間歌はまだ二十歳前後の下層勤労者だつた。「創刊の辞」も『車輪』ははやく詩人の集りです。腕一

本、脛一本がぼくらの資本。小市民的愚劣さと頹廢の中に、ぼくらは現実のふりかざす鞭を浴びて立っている。(略)ぼくらは大衆に愛され親しまれる詩を創造するために、詩を現実への反響として力強くあらしめるために、また人人と共に明日への足どりをしっかりと揃へるために力一杯やつて行きたいと思ふ」という若さをもつものだつた。

4月幹事会

4月9日(土)

10時〜

草の家

102歳、いま伝えたい!

川村 高子

(高知県退職婦人教職員連絡会顧問)

(I)

まだ幼かつた頃

私は大正八年四月十七日に高知県長岡郡西豊永村寺内(現大豊町)で生まれました。東西に連なる四国山脈の南側の急傾斜地に建てた家々からなる集落です。

川がなく水を引けなくて米作ができず、麦、雑穀が主食。収入は年二回行なう養蚕、和紙の原料にする楮、三椏。貧しい生活でした。

父は勉強しなかつたけれど、祖父に「百姓に学問はいらん」と言われて、退学せざるをえませんでした。結婚して次々と子どもが生まれ、「子どもを学校にやるには決まつた収入が必要だ」と思い、母と相談し、募集している警察官に応

募し、合格。祖父に反対されたけれど、教習所に入所しました。私が四歳のときでした。父が教習所に行つてから、母一人での百姓仕事はたいへんでした。私はやつと負んぶできる妹を背負い、弟の手を引いての子守りです。母の働いている畠へ乳を飲ましに行つたり、夕方になると母の帰りを待ちかねた妹は泣きだし、弟も母を呼んで大声を出し、私まで泣きだしたくなりまし

た。

この頃は妹や弟の守りをするのは普通で、学齢前から家の労働力になるのが普通でした。

続く

2月幹事会報告

☆同盟員 261名

☆署名

個人(438筆)

団体(2筆)

☆女性部・青年部

(女性部)

3月27日(日)に総会を開催します。

コロナ感染の影響は避けられませんが感染対策を取り実施します。

☆署名のお願い

郵送・手渡しで届けて戴き有難うございます。引き続き国会請願に向けて協力をお願い致します。

中央本部増本一彦会長が

お亡くなりになりました。

増本一彦会長は、2022

年2月6日持病のためにご自宅でご家族の皆さんの不眠の努力のなか亡くなられました。謹んでご冥福をお祈りいたします

(連絡文書・三役会での増本

会長挨拶要旨)

第1

第40回全国大会までに会員2万名を擁する同盟に発展させて、成功裡に新たな前進の道を切り開きましょう。

そのためには、①伊藤千代子の映画制作・上映運動を友好団体と協力して成功させて、映画観覧の来場者のすべてに「同盟入会のおさそい」活動を強めること、②しかし、4月の映画上映運動の開始まで会員拡大の取り組みを待つことなく、直ちに都道府県本部

と支部で必要な会議を開き、「必ずやり抜く」意思統一を勝ち取り、会員拡大推進体制をとって拡大活動を同盟全体の「運動化」することです。

第2

第39回全国大会以降の情勢の発展・変化と第40回全国大会までに全国2万名の会員を擁する同盟組織を作ることの意義について

昨年の総選挙では、自公政権を打倒して、新しい政治への第一歩を踏み出そうと立憲主義の回復を旗印に共産党が中道政党左派、中間派との統一戦線を組んで闘いに乗り出したことに対する保守勢力は死に物狂いの反共闘攻撃を行なってきた。市民連合と立憲野党の共闘は真正面から支配階級の「反共攻撃」「反共産党攻撃」と闘い、これに打ち勝たねばならない情勢を迎えたのです。これが今日の情勢の新しい変化・特長であります。

国民の諸要求を政策化した

「市民連合と立憲野党4党との政策合意」、「共産党と立憲民主党との政権合意」、そして「憲法改悪を阻止して、日本と東アジアの平和をまもる政策」、「地球気候危機対策」「ジェンダー平等の社会を実現する政策」「貧困と格差社会をなくす政策」などの語り部が足りず、国民の中に浸透し切れなかったなどの弱点も明らかになりました。これを克服することが今後の課題です。

私たち同盟は、自公政権を打倒して新しい政治を生み出すためにも、そして「2020年代に治安維持法体制に決着をつける」ためにも、質量ともにその地力をつけなければなりません。

以上

第40回全国大会成功めざし

① 3月1日から6月30日
「2万人の同盟実現特別期間」に設定する。

② 国会請願署名(18年、19年、20年の20万筆未達成を教訓に自主目標達成を目指す)

③ 支部建設

支部が定期的に宣伝・署名活動、映画会をして地域のみなさんに同盟を知っていただき、「市民権」を得ることが重要

国会請願(予定)

5月11日(水) 集合II衆議院第1議員会館

全国女性交流集会(案)

第31回全国交流集会は、第1案として22年11月6日(日)〜7日(月)、静岡県熱海市 ニューウエルシティ湯河原で実現するよう検討・努力します。